



高 第一高等学校 白梅だより

平成23年度
〈第1号〉
6月20日発行

110年目の第一高校は、君の手に！ ～男女共学で、新たな風を～



校長 森塚 利徳

徴する梅の木が87本、凜(りん)とした姿で立っています(「凜」ということばは、本校生がモットーとして

今から140年前の熊本の新時代(文明開化)は、現第一高校の地から始まりました。明治3年、現正門付近には、医学校及び洋式の病院が設立されました。医学校では、後の日本医学会を代表する北里柴三郎も学んでいます。明治4年、現体育館の地には、熊本洋学校が開設され、洋学校からは、当時の政治や社会、文化等をリードした徳富蘇峰(とくとみ そほう)ら、明治の新時代を担う多くの人材が、続々と世に生まれました。明治8年、医学校の跡には、後の熊本県庁である白川県庁も設置されています。

そして、現在の第一高校の地は、熊本市の中心部を形成しています。にもかかわらず、周囲を楠の大木に囲まれ、緑豊か、静寂そのものです。その中で、本校を象徴する梅の木が87本、凜(りん)とした姿で立っています(「凜」ということばは、本校生がモットーとして

こんな第一高校は、戦後から今日まで、まぎれもなく男女共学の学校なのですが、残念ながら、30数年前から男子の生徒の在籍がありません。(本校創設明治36年以来、卒業生は4万人ですが、その内、千人余りが男子の卒業生です。)そこで、私は、2年後に、本校が創立110年目を迎えるに当たり、本校に新風を吹き込んで、さらに第一高校が活性化することを願って、男女共学を推進していこうと思っています。現在の本校の授業や部活動、施設設備等を考えてみますが、男子の皆さんが入学してきて、ほとんど支障はありません。確かに、部活動等で、現状のままだと制限されるところはあります。しかし、改善しなければならないところは、少しずつでも改善していきたいと思っています。

ぜひ、女子はもちろん、男子の中学生の皆さんも、110年目の新たな第一高校作りに挑戦してみませんか。それとともに、本校で大きな夢の実現をめざしてはいかがでしょうか。先生方や在校生、保護者、同窓生、みんな大歓迎です。



入学式



生徒代表宣誓

4月8日、入学式が行われ、緊張した表情を浮かべ、真新しい制服に身を包んだ新入生の入学が許可されました。新入生が担任の先生の話に目を輝かせて聞いていた姿が印象的でした。これから『凜とした一高生』と成長することが楽しみです。また、白梅寮では1年生12名が入寮し、3年間の寮生活がスタートしました。



オープニング(第一高校音楽部)



真剣な表情で話を聞く新入生



初めてのホームルーム



白梅寮の入寮式



第34回一高祭体育部門が5月15日(日)に行われました。今年は学年練習や全体練習の際に雨天が続き、グラウンドでの練習時間があまり取れない中で本番を迎える形となってしまいましたが、当日はそれらを感じさせない競技・演技を見せてくれました。



すぐに友達もでき、不安も解消!

新入生宿泊研修

4月13日から15日までの3日間の日程で、南関町のホテルセキアを会場として新入生宿泊研修が行われました。同級生と寝食をともにしてお互いの親睦を深めることができ、友達がたくさんできました。この研修で一高生としての自覚を深めるとともに、高校での学習や生活について学ぶことができ、実りある研修でした。

